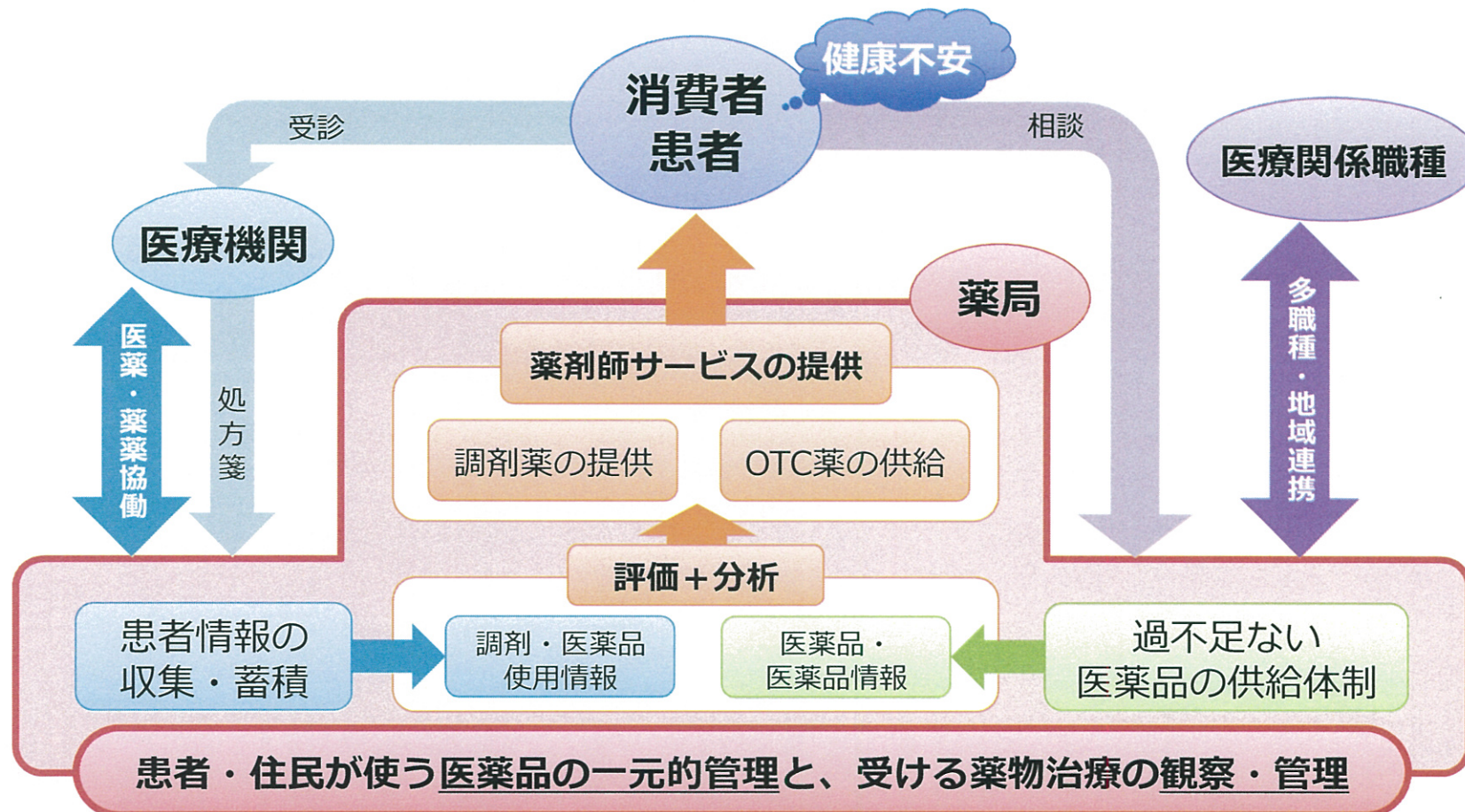


将来目指すべき薬剤師・薬局の姿 (地域に貢献する薬剤師・薬局のビジョン)



地域・患者への適切な医療提供体制を支える薬局・薬剤師
国民皆保険、地域包括ケアシステムに貢献する薬局・薬剤師の実現

薬剤師・薬局の役割



国民・患者へ、必要な医薬品を適切かつ過不足なく供給できる体制の確保

- 患者の服薬状況を一元的・継続的に把握し、適切な管理の下での安全な服薬の確保
- 医薬品入手の「自由」と「利便」の違いに関する、地域社会・住民への啓発（経済的・医療提供体制的）
- コロナ禍や災害時、緊急避妊薬を必要とする事態など平時とは異なる状況下でも必要な医薬品を提供できる体制の構築

地域包括ケアシステムの構築への貢献

- 多職種連携、チーム医療への貢献（共通の言語の活用と、相互の職務に関する理解・協働）
- 医師の働き方改革の実現のための業務連携（タスクシェア/タスクシフト）

医薬品適正使用のための各種方策の推進

- 残薬解消、ポリファーマシー対策、後発医薬品の適切な使用等を含め、患者・住民が適切な費用で医薬品の安全・安心を享受できる体制の確保
- 医療情報の利活用による、より幅の広い薬学的知見での質の高い服薬管理の提供

国民自らによる疾病予防・健康管理意識の醸成と、その促進に資する健康相談等への貢献

- セルフケア/セルフメディケーションへの支援
- 地域住民に対する薬局・薬剤師の有する健康サポート機能の積極的活用
- 地域住民に対するOTC医薬品の適切な提供と、使用状況の一元的かつ継続的な薬学的管理
- PHRの活用による国民自らの情報管理とその連携による健康管理・薬物治療へのサポート
- 地域住民・子供たちに医薬品の適切な使用や公衆衛生意識の向上を目指した普及・啓発

国民皆保険の堅持

（Sustainability :持続可能性の視点に立っての国民皆保険の維持・運営）

- 国民が安心して最良・最適な医療を受けられる環境の確保
- 国民皆保険の理念の周知と、適切な活用策の啓発